



2026年5月15日

各 位

会 社 名 イチカワ株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 矢崎孝信
(コード番号 3513 東証スタンダード)
問 合 せ 先 執行役員総務部長 山崎 敦
(TEL. 03-3816-1111)

配当方針の変更に関するお知らせ

当社は、2026年5月15日開催の取締役会において、2027年3月期以降の配当方針を下記のとおり変更することを決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 変更の目的

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要課題の一つに位置付け、安定的かつ積極的な配当を目指しておりますが、今般、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて配当方針の見直しを行い、2026年度から2030年度を最終年度とする中期経営計画期間におきましては、DOE(連結株主資本配当率)を目標として配当を実施する方針といたしました。

本方針は、株主還元の安定性及び資本効率の向上を両立させる観点から導入するものであり、中期経営計画の期間中における成長投資の状況、業績動向及び財務健全性等を総合的に勘案したうえで運用してまいります。2031年度以降の配当方針につきましては、当該中期経営計画の進捗及び成果を踏まえあらためて検討いたします。

2. 変更の内容

(1)変更前

当社の剰余金の配当につきましては、「安定的かつ積極的な利益還元」を基本とし、企業競争力の強化と財務の健全性を総合的に勘案して実施してまいります。なお、配当性向につきましては、1株あたり連結当期純利益の30%以上を目途としております。

内部留保金につきましては、将来の企業価値を高めるため、主力事業の市場競争力強化を目的とした設備投資及び研究開発投資等の原資として有効に活用してまいります。

また、健全な財務体質を前提とし、機動的な自己株式の取得等を実施することを検討してまいります。

(2)変更後

当社は、企業価値の向上と株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しております。企業体質の強化と新たな事業展開に備えるための内部留保とのバランスをとりながら、株主の皆様への配当と企業価値の向上に必要な成長投資及び人的資本投資への適正な利益配分に努めてまいります。

当社の剰余金の配当につきましては、「配当の安定性・継続性」と「資本効率の向上」を実現するため、2026年度から2030年度を最終年度とする中期経営計画期間におきましては、配当性向を考慮したうえで、DOE(連結株主資本配当率)2.5%を目標として、業績の動きや財務状況等を総合的に判断して実施してまいります。

また、健全な財務体質を前提とし、株主還元の充実を図るため、機動的な自己株式の取得等についても検討してまいります。

※DOE(連結株主資本配当率)=年間配当額÷連結株主資本(期首・期末の平均値)×100

3. 適用時期

2027年3月期より適用いたします。

以 上